

一般社団法人日本WPAは、「水なし印刷により環境配慮印刷を推進する」との理念のもとに、SDGs（Sustainable Development Goals）の17の目標に対して、次の貢献をすることを宣言します。

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月に、国連サミットで「ともに取り組むべき国際社会の普遍的な目標」として全会一致で採択された。SDGsは、2030年に向けた持続可能な開発に関する地球規模の優先課題を17のゴール（目標）として掲げている。

水なし印刷とSDGsの関連性



水なし印刷による機会

日本WPAは、「3.すべての人に健康と福祉を」「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」「12.つくる責任、つかう責任」「13.気候変動に具体的な対策を」の目標への貢献を目指します。

水なし印刷による影響

日本WPAは、「3.すべての人に健康と福祉を」「6.安全な水とトイレを世界中に」「15.陸の豊かさも守ろう」の目標に対しも、事業者の倫理観の更なる醸成とともに、技術革新への積極的な事業活動を通じて影響軽減に努力します。

水なし印刷による機会について

- A) 3.すべての人に健康と福祉を → 有害化学物質の排出の抑制（ターゲット：3.9）
- B) 9.産業と技術革新の基盤をつくろう → 環境に配慮した技術・産業の拡大（ターゲット：9.4）
- C) 12.つくる責任、つかう責任 → 製品のライフサイクルを通じて化学物質やすべての廃棄物の環境に配慮した管理を達成し、大気、水、土壌への排出を大幅に削減することにより、ヒトの健康や環境への悪影響を最小限に留める（ターゲット：12.4）
→ 予防、削減。リサイクル、およびリユースにより廃棄物の排出量を大幅に削減する（ターゲット：12.5）
- D) 13.気候変動に具体的な対策を → 気候変動に起因する危険や自然災害に対するレジリエンス、および適応力を強化する（ターゲット：13.1）
→ 気候変動の緩和、適応、影響軽減、および早期警告に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する（ターゲット：13.3）



水なし印刷による影響について

- A) 3.すべての人に健康と福祉を → 有害化学物質の排出の抑制（ターゲット：3.9）
印刷の洗浄工程では、依然として化学物質が使用されている
- B) 6.安全な水とトイレを世界中に → 全セクターにおいて水の利用効率を大幅に改善する（ターゲット：6.4）
現像工程など水の利用効率の改善の余地がある
- C) 15.陸の豊かさを守ろう → あらゆる種類の森林のお持続可能な管理を促進し、森林破壊を阻止し、森林の回復、森林再生を増加させる（ターゲット：15.1）
印刷の生産性の向上による用紙の削減に余地がある